

2022 年 7 月 19 日

LNG 受入量 2,000 万トンを達成

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 岸田裕之）は 7 月 16 日、清水エル・エヌ・ジー袖師基地※¹に入港したマレーシアからの LNG※²船「Puteri Zamrud Satu（プテリ ザムルド サツ）号」の受け入れにより、LNG の累計受入量が 2,000 万トンを達成しました。

1996 年 6 月にマレーシアからの LNG 船「Puteri Nilam（プテリ ニラム）号」より受け入れを開始し、約 26 年間での達成となります。主にマレーシアやオーストラリアからの LNG 船を受け入れ、LNG 船の累計受入隻数は今回で 345 隻となりました。

静岡ガスグループは今後も、暮らしに必要なエネルギーを安定的にお届けし、地域社会の発展に貢献してまいります。

※ 1 静岡県内唯一の LNG 受入基地として、清水エル・エヌ・ジー株式会社が管理および運営を行う。

LNG は気化、熱量調整、付臭を行い、都市ガスとしてお客さまに供給する。

※ 2 Liquefied Natural Gas（液化天然ガス）の略称で、メタンを主成分とした天然ガスを-162℃まで冷却し液化させたもの。

【清水エル・エヌ・ジーについて】

会社名	清水エル・エヌ・ジー株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区袖師町 1900 番地
設立	1992 年 8 月
株主構成	静岡ガス：65%、ENEOS：35%
基地の敷地面積	約 12 万平方メートル
LNG タンク	地下式タンク 3 基を保有、合計で約 34 万キロリットルの LNG を貯蔵可能

以上